

平成 29 年度第 1 回 尼崎市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

- 日時：平成 29 年 7 月 7 日（金）午前 8 時 56 分～午前 10 時 44 分
- 場所：教育委員会室
- 出席委員：5 人  
長岡委員（会長）、藤山委員（副会長）、村上委員、河野委員、玉井委員
- 事務局：5 人  
教育次長、社会教育部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課課長補佐、スポーツ振興課職員
- 傍聴者：なし

議題 1

平成 28 年度事業実績報告について

委員 実績数が大幅に減少しているところは、市民マラソン大会と市民ウォークとなっていますが、これは大会の中止等に伴うものであり、減少している理由がはっきりしているので仕方ないと思います。

子どもたちの体力作り事業も大きく実績数が減少していますが、一部の学童保育に通う児童のみに対して行われる事業であり実績数が伸びないため、事業を終了したということと合っていますか。  
事務局 そのとおりです。市民マラソン大会ですが、平成 26 年度に台風による中止を挟んだということもありましたので、その後の数値はなかなか伸びないというのがあります。

市民ウォークにつきましては、参加者から施設見学は必要ないので徹底的に歩きたいというご意見がありましたので、平成 29 年度は距離を伸ばしたコースも用意しましたが、距離が長くなり過ぎたのか、参加者が思うように集まりませんでした。

委員 体育協会の総会の時に尼崎市議会議長が挨拶を行いました。高齢者の体力づくりにもっと力を入れてほしいというようなことを話していましたが、定期的に尼崎市内全般にわたって展開していただけるような高齢者向けのプログラムはありますか。

事務局 定期的にやっている事業としましては、さわやか地域スポーツ活動があります。特に高齢者に特化した事業ではありませんが、平日の午前に開催していますので参加される方は高齢者の方が多くなっています。

委員 単に高齢者が集り、そこで体操やストレッチ等を行うことにより、高齢者の居場所づくりとなる取組があってもいいと思います。その場所に行けば体を動かしたり、他の人と喋ったりする等することにより、閉じこもりがちな高齢者が外に出る機会が増え、健康づくりに繋がるのではないのでしょうか。

また、体育館の実情もあると思いますが、地区体育館の開館時間前にプログラムを実施すれば、朝早くから活動を行っている高齢者も集まりやすいと思います。

事務局 尼崎市は人口が減っていく一方、高齢者世代については増加していくという状況にあります。気軽に利用できる事業を展開し、より多くの方に運動に携わっていただければと思います

## 議題 2

### 尼崎市スポーツ推進計画第 2 期に係るプレアンケート調査について

事務局 今回はプレアンケート調査ですので、事前に軽くあたりを付け、本番のアンケート調査時の設問の参考にしたいと考えております。調査実施方法ですが、健康づくり教室受講者や公民館の講座受講者にアンケート調査を協力していただけないかと思っています。

委員 プレアンケート調査は、その場で回答をしていただくこととなりますよね。

事務局 その場で配布してその場で回収することになると思います。あまりに多いと答えていただけないので、A3 を二つ折りにして、4 ページものにして答えていただくのが限度かなと思います。

委員 回答時間は 5 分から 10 分程度ですね。

事務局 そのようになると思います。

委員 ウェブアンケートで答えるという考え方はないのですか。

委員 本番のアンケート調査はウェブアンケートも考えてみてはいいかと思っています。ただ、年齢層が偏るかもしれません。

事務局 本番のアンケート調査に関しますと、前回は無作為抽出した 3,000 人に調査を行いました、回収率が低かったため、今回は、統計的に偏りが無いということになるのであれば、色々なルートを使うのも一つの手であると思います。

委員 集計結果を基に、今後どのように本番のアンケート調査を行うかを委員の皆様にご意見をいただくという形になりますか。

事務局 プレアンケートの結果を踏まえて、本番のアンケート調査についてのご相談をさせていただきます。

以 上